

## 総務経済常任委員会

### 農業の活性化について

4月5日、小川直売所及び嵐山直売所へ出向き、それぞれのお話をうかがった。

●小川直売所 組合員186名（登録数）実働は100名程度。課題は毎日の出荷数が足りないこと。但し、出している人の追加搬入はある。昨年からは有機農業の生産者15名程が組合員に新規加入した。

○委員からの質問  
有機品のリピーターはどの様な方か。

答 町内では団地の方が多い。新規加入の手続きは。

問 三役と所長で面談し判断するので早い。

●嵐山直売所 組合員128名

○委員からの意見  
「めんこい」の売り場について、早いうちに年間通して食べられるようにしたい。また、地元の食堂が扱える展開を望む。

4月19日、將軍沢地区でオーガニック野菜を栽培されている八国山農園の勝又氏にお話をうかがった。勝又氏は大蔵地区在住の方と2名で生産販売を行っている。主な売り場は吉祥寺の直営店。体制を整えば嵐山直売所への出荷も考えている。夢は「嵐山・小川の有機農業生産者で比企郡オーガニック連合として、東京オリンピックに使用される野菜に名乗り挙げたい。」との話であった。

4月19日、將軍沢地区でオーガニック野菜を栽培されている八国山農園の勝又氏にお話をうかがった。勝又氏は大蔵地区在住の方と2名で生産販売を行っている。主な売り場は吉祥寺の直営店。体制を整えば嵐山直売所への出荷も考えている。夢は「嵐山・小川の有機農業生産者で比企郡オーガニック連合として、東京オリンピックに使用される野菜に名乗り挙げたい。」との話であった。

太陽グリーンエナジー株式会社では、現在計画中の葎ハウス用農地を嵐山南部土地改良区内に7,000㎡を確保、9月に完成し、12月には生産開始となる予定。

○委員からの質疑  
嵐山直売所へも出荷するのか。  
答 既に組合員になっており出荷させていただく。  
問 ほつれん草の進捗度は。  
答 葎ハウスに農地を全部使ってしまったので、これから新たに探す。

### 駅周辺10年計画について

5月1日、現地にて説明を受けた。2階の観光案内所は土・日・祝日の9時から15時まで行つ。1階には観光協会事務所とイベント会場がある。

○委員からの質疑  
トイレに折りたたみ式棚

はオムツ交換等で必要では。業者と相談してみる。  
問 要冷蔵も含め、嵐山町に関する物は売って欲しいが。  
答 保健所の許可を必要とする。観光協会で検討中である。  
問 弁当販売については。  
答 味菜工房が行商の免許を持っており、従来どおり販売する。



八国山農園での視察のようす（將軍沢地内＝H30.4.19）

## 文教厚生常任委員会

### 調査研究事項

### 教育環境の充実に

### ついて

4月5日

### 学校施設の維持管理

学校の統廃合を調査する中で、各学校の水道施設の老朽化が課題となり、方針を求めた。

教育総務課長 各学校施設は、あらゆる点で老朽化が出てきている。統廃合となっても、8年、9年の時間がかかり、その間の維持管理がある。教育委員会としては、子供たちの安全・安心な教育環境は最低限維持し、将来無駄になっても、必要なものは整備、修繕することを基本としつつ、積極的な改築、修繕は行わないという考えである。水道施設も、漏水等が発生した場合、その都度確定できる部分に対応する。

### ICT・部活動の現状

### 教育総務課長

中学校ではICTを活用した授業が進んでいるが、タブレットの不足が課題。小学校では平成32年度に学習要領が全面実施になるのでICTの基盤整備が課題。

スポーツ庁から運動部活動について、休養日を週2日以上、平日1日2時間程度等の総合的ガイドラインが示された。嵐山町においても方針を定めることとしている。チームを組めない部もあり、他校との合同チームで試合に参加している。

4月19日

### 栄養教諭の業務範囲

越生小学校では、全国学校給食甲子園大会に出場し、また、児童と給食職員とのふれあいや調理場見学を取り入れ

ている。嵐山町での可能性を調査した。

教育総務課長 栄養教諭は、安全に児童・生徒に給食を提供するという仕事の他、町内5校の児童・生徒に年間50回の食育授業を行っている。地産食材の取組み等も行っており、他の取組みは難しい。

5月11日

### 学校視察及びまとめ

ICT・SNS・部活動及び学校施設の現状を調査するため菅谷小中学校を視察、調査結果を取りまとめた。

◆委員からの意見・提言  
○修繕等の方針は理解したが、修繕箇所の優先順位を付して対応すべき。  
○栄養教諭の職務範囲は理解した。食育授業は学校間の平準化を図るべき。

○タブレットの不足数が示された。他校も調査し、対応が必要。



ICTを活用した国語の授業風景  
菅谷中学校  
＝H30.5.11

○学校でのスマホの取り扱いには小中一貫の考えが必要。  
○ラインによるいじめはあるとの認識で学校、PTA、教育委員会、町の連携が必要。  
○運動部活動は、6月中旬に視察を行い、意見交換を行う。  
以上中間報告